

# 大学の使命は「教育」「研究」「社会奉仕」 優秀な学生を育て地域医療をリード

「良き医療人の育成」を目指して着実な発展を遂げてきた藤田保健衛生大学（愛知県豊明市）。設立五〇年弱の比較的新しい医科系大学ながら、医学部と医療科学部を持ち、様々な大学改革を進め、最先端技術で、地域医療をリードする大学に成長し、二〇一八年秋の開学五〇周年に向け「藤田医科大学」への改名も明らかにした。九月、イギリスの教育専門誌が公表した「THE世界大学ランキング」で、国内一位、国内私立大学で一位の高い評価を得ており、栄光への軌跡と今後の展望を星長清隆学長に聞いた。

## 大学病院院長五年、学長就任三年余を振り返って。

星長 病院長時代から考えてきたのは教職員の力の結集です。病院の運営を巡って困難な時期もありましたが、職員をはじめ、多くの協力者や地域の人材に支えられて、克服することができました。病院では新しい施設、最先端医療

機器の導入などに力を入れてきました。学長としては、大学の使命を「教育」「研究」「社会奉仕」と捉えて、改革を進めました。その結果、文部科学省の評価も徐々に上がり、世界ランキングも驚きの成果でした。これも教職員の努力、チームワークの賜物であり、方向性は間違っていないかと思うて

います。

## 具体的な評価内容は。

星長 文部科学省の私立大学等改革総合支援事業で「教育の質的転換」「地域発展」「産業界・他大との連携」で、昨年度まで二年連続で三分野での合格の評価をいただきました。二年連続、三分野で選定された医科系大学は本学のみです。

特に地域発展では、大学の地域包括ケア中核センターを設立して、住み慣れた地域での生活継続を可能にする先進的地域包括ケアモデルへの取り組みを進めました。産業界・他大との連携も日本福祉大学（医福連携）、名城大学（医工連携）、愛知学院大学（医科

歯科連携）など六大学と連携し、産学では嚥下食開発、リハビリロボット、医療機器などで製薬会社や製造業のトップ企業と連携をまとめてきました。こうした取り組みの積み重ねが注目されたということでしょう。

## 教育、研究の現状は。

星長 教育では、学生と教員の数がほぼ同数で、丁寧な指導体制は学生にとっては恵まれた環境といえます。外国人留学生も英語のみの大学院の授業で指導しています。また、ベトナムのハノイ医科大学に日本語の教員を大学が派遣して、育てています。一年後に本学に編入させ、日本語で授業を受けてもらい、看護師の国家資格を

取得してもらいます。学生数は三〇四名と多くはありませんが、国際貢献への先駆者になってくれると思います。

藤田学園の創設者の故藤田啓介氏が研究を重視して総合医学研究所が設立されました。今回世界ランキングで私立大学日本一となったのは教授の論文の引用数が群を抜いていたためですが、創設者の研究重視の理念の正しさが証明されたとも考えています。

## 最先端医療機器も質の高い教育には欠かせない？

星長 手術ロボット「ダヴィンチ」をいち早く導入し、現在は三

台目ですが、二人が別々に同じ画面を見て、手術の情報交換がスムーズにできる最新鋭機です。私自身が臓器移植で先端機器導入の重要性を指摘してきたこともあり、若い医師の技術の上達が早いなど教育の面での効果は出ていると思います。

## 地域貢献の具体的な取り組み、成果を。

星長 地域包括ケア中核センター、地域包括ケアモデルへの取り組みですが、豊明団地での本学の取り組みはユニークだと思いま

す。本学は団地を所有するUR都市機構と連携協定を締結。団地で高齢者が安心して暮らせるよう職員が常駐して健康管理などの相談を受けます。在宅医療の研修も実施しています。リハビリから緩和ケア、看取りまで、まさに包括ケアのモデルづくりを進めています。団地の空き部屋は、職員が住むことで、団地全体に活気も生まれています。

## 日本初の緩和ケア病棟（三重県）は日本初の大学運営によるホスピスでした。その後は。

星長 現在は本院でも二〇個室で対応しています。緩和ケアとは、かつては痛みを和らげる医療でしたが、現在はがんになった時から対応しており、正しい食事により病院で元気になって、一旦は家に帰り、在宅医療に切り替わって看護師が活躍するケースが増えています。大学の地域での包括支援の輪が広がってきていますね。

## 学生、受験生へのメッセージを。

星長 大学病院を訪れた患者さん、学生、教職員の満足度が日本

一でありたいと思ってやってきました。私は一九九〇年に本学に来て、教職員の皆さんに自信を持ってもらいたいと感じました。その後、教え子で米国へ留学を指導した若い医師が免疫学で素晴らしい研究をして世界の一流誌に論文を発表するなど、活躍してくれています。こうした学びの環境を整えてやることで、大きな自信をつけることを実感しました。米国の学会で世界的な仕事をしている人が生まれ、今後も本学の教育の質の確かさが認められていくと信じています。開学五〇周年を迎える二〇一八年秋に「藤田医科大学」への改名を目指して文科省に申請しており、本学を目指す学生にも、希望も持つてほしいですね。

## 趣味、座右の銘は。

星長 海外出張中の飛行機や新幹線の中で本を読むのが楽しみです。旅行も趣味ですが、なかなか実現しません。好きな言葉は「CLEAN HONEST CON FIDENT」です。清潔で正直、に加えて自信を持つことが大事だと思っています。



星長 清隆（ほしなが きよたか）  
1950年、兵庫県生まれ。慶應義塾大学医学部卒業。76年、国家公務員共済組合連合会立川病院泌尿器科。83年、米国ヴァージニア医科大学移植血管外科。90年、藤田保健衛生大学医学部講師。2000年、同教授。09年、藤田保健衛生大学病院病院長。14年から現職。専門は腎臓移植、移植免疫など。